

Public Economics

准教授 坂井 豊貴

1. 授業目的

公共経済学の理論と日本の公共政策について学ぶこと。

2. 授業概要

イントロダクション（1回）

第一節「外部性」（4回）

ピグー税，コースの定理，市場の創設，排出権取引

第二節「公共部門の価格設定」（4回）

ピークロードプライシング，二部料金制度

費用低減産業の価格規制

第三節「課税と年金」（4回）

第四節「公共財供給と制度設計」（4回）

公共財の過小供給，リンダールの方法とメカニズムデザイン

第五節「マーケットデザイン」（4回）

オークション理論と公共部門における利用，マッチング理論と公共部門における利用

第六節「政治経済分析」（5回）

ギバート・サタスウェイト定理，中位投票者定理とその応用，政治経済動学

第七節「公平性の理論」（4回）

政治哲学，不平等計測

*各講義回数は，進み具合などに応じて適宜最適化する。

3. 教科書・参考書

講義ノートを主に用いる(HPに随時アップする)。

参考書は随時指定する。英文の専門論文を題材にすることもある。

4. 履修目標

諸公共経済問題について考察するための基礎知識と思考ツールを獲得すること。

5. 授業方法

講義を行う。

6. 履修条件および関連科目

ミクロ経済学の基礎知識を前提とする。

初回の講義で多少説明するが，微分を用いた最適化を頻繁に利用する。

7. 成績評価基準

中間試験50点＋期末試験50点で成績をつけ，

90-100 秀，80-89優，70-79良，60-69可，0-59不可

とする(必要に応じ，相対的な出来を考慮し微調整を行う)。